

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月7日 (2012.6.7)

【公開番号】特開2010-5379(P2010-5379A)

【公開日】平成22年1月14日 (2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2009-124780(P2009-124780)

【国際特許分類】

A 6 1 C 8/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 8/00 Z

A 6 1 B 17/58

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

骨に接触状態で固定されるインプラント体であって、
ジルコニアで形成された母材部と、
該母材部の表面に形成され前記母材部よりも低い硬度の表面層と、で構成され、
前記表面層に、多数のひび割れが形成されていることを特徴とするインプラント体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のインプラント体において、
前記表面層の硬度が、前記骨の硬度以下であることを特徴とするインプラント体。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のインプラント体において、
前記表面層が、水酸化ジルコニウムで形成されていることを特徴とするインプラント体。

【請求項 4】

前記骨としての歯槽骨の穿孔に挿入されて固定される請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のインプラント体を備えていることを特徴とする歯科用インプラント。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のインプラント体を製造する方法であって、
ジルコニアで形成された母材部の表面に、水分を含む空气中でレーザ光を照射して前記母材部よりも低い硬度の水酸化ジルコニウムの表面層を形成する工程を有していることを特徴とするインプラント体の製造方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のインプラント体の製造方法において、
前記レーザ光が、Nd:YAG レーザ又は YVO₄ レーザによる基本波のレーザ光であることを特徴とするインプラント体の製造方法。

【請求項 7】

請求項 5 又は 6 に記載のインプラント体の製造方法において、
前記レーザ光の照射により前記表面層の硬度を前記骨の硬度以下とすることを特徴とす

るインプラント体の製造方法。